



お知らせ

記者発表資料	平成28年8月29日
配布日	

資料提供先：岡山県政記者クラブ

## 平成27年水質事故発生状況について (岡山三川水質汚濁防止連絡協議会 事務局受報分)

平成27年の岡山三川（吉井川水系・旭川水系・高梁川水系）の水質事故発生状況（岡山三川水質汚濁防止連絡協議会 事務局受報分）について、別紙のとおりお知らせします。

※「岡山三川水質汚濁防止連絡協議会(会長:岡山河川事務所長)」は、岡山河川事務所を事務局として、岡山県、広島県、流域市町村、消防組合及び水道企業団を含む55団体（別表1）で組織されています。

この協議会は、岡山三川（吉井川、旭川、高梁川）における水質事故への迅速な対応や水質保全、水質事故の未然防止を図ることを目的として、平成3年に発足しました。

関係機関の相互連絡を密に取り合いながら、各水系で一貫した水質事故への対応を行い、流水の正常な機能の維持、事故の未然防止に努めています。

### 問い合わせ先

岡山三川水質汚濁防止連絡協議会  
事務局

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所  
電話 086-223-5196（防災情報課直通）

### 【担当】

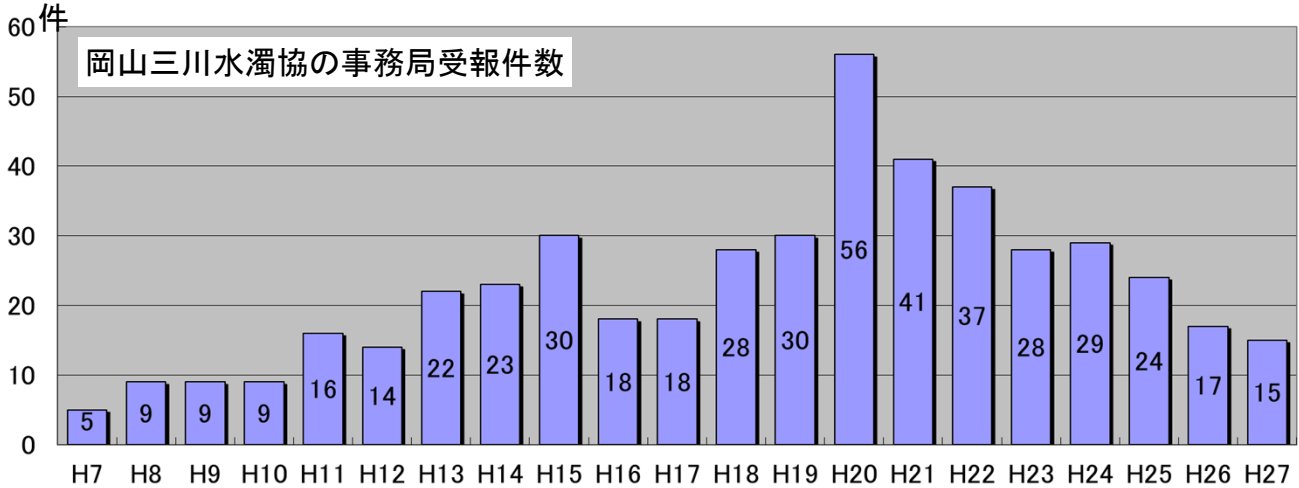
副所長（技術） しもやま 下山 しげる 茂（内線205）

防災情報課長 こばたけ 小畑 てつや 哲也（内線281）

# 平成27年水質事故発生状況(岡山三川水濁協事務局 受報分)

## (1)水質事故事務局受報件数

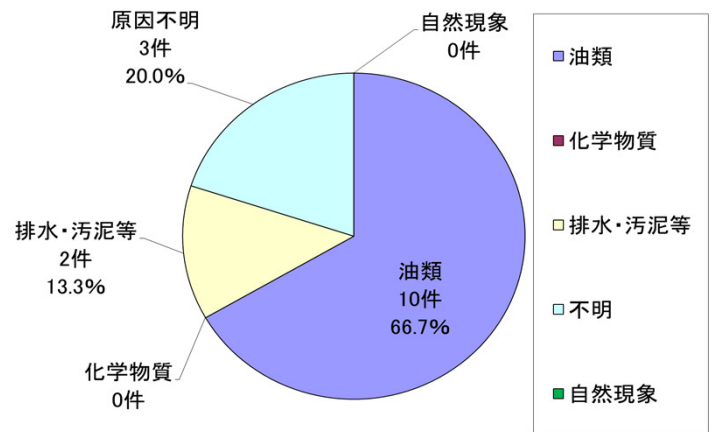
水質事故受報件数は図に示すとおり、平成13年から20件から30件程度で推移し、平成20年に水濁協への参加機関を拡大したところ受報件数が大きく増加しましたが、その後は減少傾向にあります。



## (2)水質事故の発生事象

発生事象別では「油類の流出」が3分の2と大多数を占めています。「化学物質」の流入はありませんでした。「排水・汚泥」とは、事業所から設備の破損やバルブの閉め忘れなどにより未処理のままの排水が流出するなどの事故が発生しました。原因不明は、魚のへい死などありました。

H27水質事故の発生事象別(事務局受報分)



## (3)水質事故の発生原因

発生原因別では、「操作ミス」によるものが最も多く4件、続いて「交通事故」によるものが3件、次に「機械の故障」によるものと「不法投棄」によるものが1件発生しました。

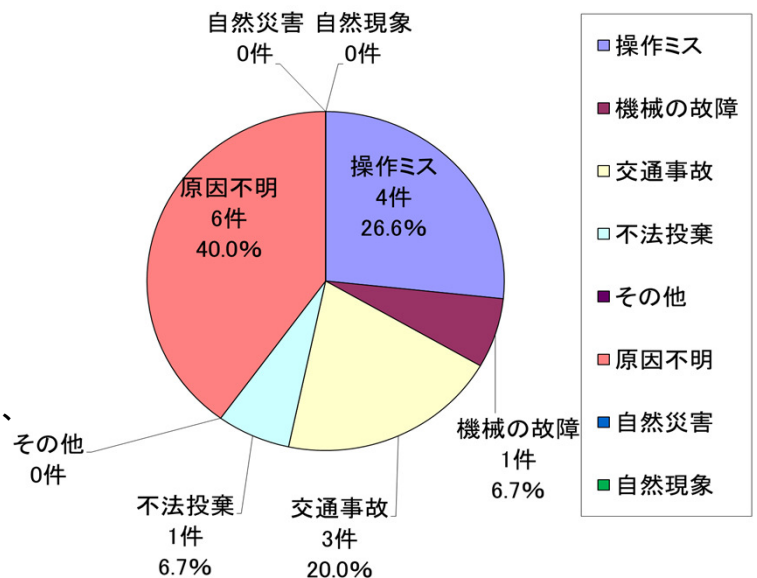
「操作ミス」とは、原因物質の取り扱いに際して人為的なミス（給油ミス、排水処理の管理不足、バルブの閉め忘れ等）により生じた事故になります。

「交通事故」とは、自動車の転落事故によって河川へ直接燃料が流出したり、接触事故などによって燃料タンクなどから油が流出して水路等を経由して河川へ流出した事故になります。

「機械の故障」とは人為的なミスによらない機械（タンクや配管等の設備も含む）の故障、経年劣化・腐食などによる損傷により生じた事故になります。

「不法投棄とは」水質事故の原因物質の流出が不法投棄に起因するものになります。

H27水質事故の発生原因別(事務局受報分)



※水質事故対応状況参考写真



平成27年9月25日 旭川水系宇甘川  
油流出事故(農機具の廃エンジンオイル投棄)

## 「岡山三川水質汚濁防止連絡協議会組織一覧」

所 属	担当部局	所 属	担当部局
中国地方整備局	岡山河川事務所	井原市	市民生活部
	苫田ダム管理所	総社市	環境水道部
岡山県	危機管理課	高梁市	市民生活部
	環境文化部	新見市	福祉部
	保健福祉部	備前市	市民生活部
	農林水産部	瀬戸内市	環境部
	土木部河川課	赤磐市	市民生活部
	土木部都市局	真庭市	生活環境部
	備前県民局建設部	美作市	市民部
	(東備地域事務所)	和気町	民生福祉部
	備中県民局建設部	矢掛町	町民課
	(井笠地域事務所)	新庄村	産業建設課
	(高梁地域事務所)	鏡野町	くらし安全課
	(新見地域事務所)	勝央町	健康福祉部
	美作県民局建設部	奈義町	産業振興課
	(真庭地域事務所)	西粟倉村	建設課
	(勝英地域事務所)	久米南町	産業建設課
	企業局	美咲町	住民課
	警察本部	吉備中央町	住民課
広島県	土木建築局	津山圏域消防組合消防本部	警防課
岡山市	環境局	笠岡地区消防組合消防本部	警防課
	水道局	井原地区消防組合消防本部	警防課
	下水道河川局	東備消防組合消防本部	警防課
倉敷市	環境政策部	岡山県広域水道企業団	浄水課
	下水道部	岡山県南部水道企業団	総務課
	水道局	備南水道企業団	工務課
津山市	環境福祉部	岡山県西南水道企業団	庶務課
	水道局		